

# 学長定例記者会見要項

日 時: 令和2年1月16日(木) 11:00~11:45

場 所: 法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

#### 発表事項

1. 日本学生フロアボール選手権大会で山形大学男子が3連覇!

- 2. 「樹氷」という名前はどこからきたのか ~気象用語翻訳の歴史から~
- 3. 純米大吟醸「山形大学燦樹(きらめき) 2020」完成 〜山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月3日より販売開始〜
- 4. やまがた食育カレンダー2020完成 ~初版から10年の節目に集大成版を制作~
- 5. 山形大学造形芸術コースの学生による卒業制作展を開催 ~4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約120点を一挙展示~

#### お知らせ

- 1. 令和2年度大学入試センター試験の取材について
- 2. 山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」について
- 3. モンテディオ山形杯「雪中棚田サッカー大会in大蕨2020」の開催について
- 4. 産学金連携コーディネータ認定証授与式について
- 5. やまがた夜話の開催について

#### (参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:令和2年2月6日(木)11:00~11:45

場所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

#### 学長定例記者会見(1月16日)発表者

1. 日本学生フロアボール選手権大会で山形大学男子が3連覇!

山形大学サリバンディ部(工学部4年)

ごうらく しんや 合楽 真弥

*"* キャプテン(工学部3年)

yのせ ゆうき 者瀬 悠貴

ル 副キャプテン(人文社会科学部3年)

<sub>おおうら</sub> ひかる 大浦 光

2. 「樹氷」という名前はどこからきたのか ~気象用語翻訳の歴史から~

学術研究院 教授(地球化学)

やなぎさわふみたか柳澤 文孝

3. 純米大吟醸「山形大学燦樹(きらめき)2020|完成

~山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月3日より販売開始~

農学部附属やまがたフィールド科学センター 技術専門職員

たなか けんいち 田中 **健**一

山形大学生活協同組合 専務理事

<sup>いじまき まさゆき</sup> 藤巻 正之

鯉川酒造株式会社 製造主任

すずき よしひろ 鈴木 義浩

4. やまがた食育カレンダー2020 完成

~初版から 10 年の節目に集大成版を制作~

学術研究院 教授(食教育)

<sub>おおもり</sub> かつら 大森 桂

地域教育文化学部食環境デザインコース4年

<sub>わたなべ はな</sub> 渡邉 華奈

11

ましい ことみ 吉井 琴美

5. 山形大学造形芸術コースの学生による卒業制作展を開催

~4 年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約 120 点を一挙展示~

地域教育文化学部造形芸術コース4年

朝倉 七星

//

<sup>かねこ</sup> 金子 さつき

]]

とみた まほ 冨田 真帆

# PRESS RELEASE



令和 2 (2020)年1月16日

# 日本学生フロアボール選手権大会で山形大学男子が3連覇!

#### 【本件のポイント】

- 第9回日本学生フロアボール選手権大会(2019年12月開催、主催:日本フロアボール連盟)男子の部で、山形大学が3年連続の優勝
- 最優秀選手として合楽真弥さん(工学部4年)、優秀選手として猪瀬悠貴さん(工学部3年)がそれぞれ選出。



#### 【概要】

2019年12月21日(土)、22日(日)に稲城市総合体育館(東京都稲城市)他で開催された第9回日本学生フロアボール選手権大会(主催:日本フロアボール連盟)男子の部において、山形大学が優勝し、大会三連覇を達成しました。今大会は山形大学を含め、男子8チーム、女子6チームが参加。山形大学はサリバンディ部が男子の部、女子の部でそれぞれ出場しました。予選リーグを1位で突破した男子チームは、駿河台大学との決勝戦を4-2で制し、3年連続の優勝を手にしました。また、最優秀選手には、合楽真弥さん(ポジションはフォワード/工学部4年)、優秀選手には猪瀬悠貴さん(ポジションはフォワード/工学部3年)がそれぞれ選出されました。最優秀選手も3年連続で山形大学から選出されています。

#### 【大会概要】

大会の名称:第9回日本学生フロアボール選手権大会

大会の期間:2019年12月21日(土)~22日(日)

主 催:日本フロアボール連盟

会 場:駿河台大学体育館(埼玉県飯能市)、

稲城市総合体育館(東京都稲城市)

·葉大学、東北大学、東京大学、三重大学、山形大学

参加大学: 国士舘大学、駿河台大学、仙台大学、千葉大学、東北大学、東京大学、三重大学、山形大学 ※試合結果の詳細は日本フロアボール連盟のホームページをご覧ください。 https://www.floorball.jp/2019/12/20191223/

#### 【フロアボールについて】

スウェーデン発祥のスポーツで、北欧で盛んな室内ホッケー競技。1 チーム 6 名(ゴールキーパー含む)で、スティックを使ってプラスティック製のボールを相手チームのゴールに入れて得点を競います。

本学では「サリバンディ部」(フィンランド語でフロアボールの意味。平成 16(2004)年設立)が小白川、米沢、 鶴岡の各キャンパスで活動中。部員は男女あわせて約70人。入学してからこの競技をはじめた学生たちがほと んどですが、これまでには、学生日本代表チームに選ばれる選手も輩出しています。(2014年、2016年、2018年に各1名)



試合の様子は、YouTube で公開中です。(QR コードから山形大 SALIBANDY 部のチャンネルをご覧ください。)

(お問合せ先) 山形大学総務部総務課広報室 電話 023-628-4008

# PRESS RELEASE



令和 2 年(2020年)1 月 16 日

# 「樹氷」という名前はどこからきたのか

#### ~ 気象用語翻訳の歴史から ~

#### 【本件のポイント】

- ●「樹氷(エビノシッポ)」は明治6年の万国気象会議で定められた「Silver Thaw」を翻訳したものです。
- 山形大学付属図書館所蔵の資料などから内務省地理局で明治 10 年 12 月頃に翻訳されたことが明らかとなりました。
- 明治 25 年、「Silver Thaw」をと「Glazed Frost」の説明文を取り違えたことに よって訳語の「樹氷」と「凝霜(後に雨氷と改名)」が反対に付けられたことが 発覚しましたが、変更されず現在に至ります。



気象月報の用語説明(明治11年1月)

#### 【概要】

「樹氷(エビノシッポ)」は明治6年の万国気象会議で定められた気象用語「Silver Thaw」を翻訳したものです。山形大学附属図書館に所蔵されております「内務省年報」などを調査したところ、明治10年12月頃に内務省地理局で翻訳されたことが明らかとなりました。なお、明治25年、「Silver Thaw」をと「Glazed Frost」の説明文を取り違えたことによって訳語の「樹氷」と「凝霜(後に雨氷と改名)」が反対に付けられたことが発覚しますが、変更されず現在に至っています。

#### 【これまでの経緯】

「樹氷」とよばれるものには、過冷却水滴が凝結した着氷である「エビノシッポ」と、着氷と雪が焼結によって合体した「アイスモンスター」の二種類があります。前者は世界各地の冬山に存在していますが、後者は日本の東北地方の一部の山岳地帯でのみ見られるものです。「アイスモンスター」は大正3年に蔵王で発見され「雪の坊」などとよばれておりましたが、「エビノシッポ」の巨大化した物が「アイスモンスター」となると誤解され大正10年頃から「樹氷」とよばれるようになりました。

さて、気象用語は、明治6年にウイーンで開催された第一回万国気象会議で決まり、明治7年に報告書が出されました。「樹氷」は「Silver Thaw」を翻訳したものです。これまでに確認されております最も古い「樹氷」の使用例は明治11年5月22日に桜井勉地理局長が陸軍大佐宛に送った明治11年1月の気象月報に付属している用語説明です(発行 日本東京内務省地理局葵坂測量課/測量課長 荒井郁之助/観測者 正戸豹之助・下野信之・中久木信倫/国立公文書館アジア歴史資料センター所蔵)。

しかし、明治6年から明治11年までの間で、いつ・どこで・誰の手によって翻訳されたものであるのか分かっておりませんでした。今回、山形大学附属図書館に所蔵されている「内務省年報」などを調査することで、明治10年12月頃に、内務省地理局で翻訳されたことが明らかとなりました。

(お問合せ先)

学術研究院・山形大学認定 蔵王樹氷火山総合研究所

教授 柳澤文孝 (環境科学)

電話 023-628-4648

#### 【明治6年から明治11年まで】

#### \*明治6年─明治7年

明治6年、ウイーンで第一回万国気象会議が開催され「Silver Thaw」などの気象用語が決まりました。この会議に日本からの参加者はありませんでした。

#### \*明治8年—明治9年6月

明治8年6月から H.B.Joyner によって気象観測が開始され、半旬(5日間)毎に報告されています(Imperial Meteorological Observatory Tokei, Japan / Observations and Calculations made by Henry B. Joyner / C.A. McVean Surveyor in Chief)。

明治9年2月、正戸豹之助ら5名に伝習生として気象業務に携わるように命が下りました。明治9年3月16日から東京日日新聞の付録として半旬の気象結果が地理寮量地課観象臺名で掲載されるようになりました。

内務省第1回年報(明治8年7月一明治9年6月)には気象観測が開始されたことや観測機器などが記載されています。一方、観測項目では従来から日本で使われていた言葉は記されていますが、カタカナもあります。正戸豹之助は大正14年の中央気象台五十周年記念式典の来賓挨拶において「・・・・シルバー・ソー(Silver Thaw)、グレーズド・フロスト(Glazed Frost)などは Joyner の説明を聞くも了解出来難く、多くの人達と相談して「樹氷」「凝霜」などの訳語を得たる次第なり。・・・・」と述べております(日本気象百年史 気象庁)。日本に無かった概念については理解できなかったことになります。

#### \*明治9年7月—明治10年6月

内務省第2回年報(明治9年7月一明治10年6月)には気象観測の継続のみしか記載されていません。大正4年に行われました中村精男中央気象台長還暦祝賀会で馬場信倫(のぶとも)は「・・・大改革がありました。地理寮が廃されて地理局が置かれ・・・正戸君と下野君と私が残務取扱を被命、気象観測を継続して行くことになったので、是迄は七八人の人にて観測をして居ました。・・・改革で外の人は罷めされまして、前途の人が残されたのであります。・・・」と述べています(日本気象学史 荒川秀俊)。明治10年1月には杉浦局長らは気象観測の重要性を訴える申請書を太政大臣に提出しています(日本気象百年史 気象庁)が、気象観測業務を維持することが精一杯だったことになります。

明治10年6月、観測主任のJoynerは満期となり日本を離れます。

#### \*明治10年7月—明治11年6月

内務省第3回年報(明治10年7月一明治11年6月)によりますと、明治11年に入ってから測候所の増設、海外の気象台との情報交換など大きな変化が起こっています。荒井郁之助は「本邦測候沿革史(氣象集誌 1888)」に「・・・明治十年末に於て五六の地方に測候所を置かんことを乞ひたいりしに許可を得て・・・」と記しています。様々な事柄は、明治10年末に決まったことになります。一方、年報には「・・・測候表は本年度に於て其体裁を一変し・・・」と記載されており、明治11年1月の気象月報が体裁を一変させた最初の物ということになります。従って、「Silver Thaw」から「樹氷」への翻訳は、明治10年12月頃に内務省地理局(桜井勉局長・荒井郁之助課長・小林一知次席・正戸豹之助観測主任・観測員の馬場信倫・下野信之ら)によって決められたと考えられます。

なお、明治 11 年 1 月の気象月報は測量課長 荒井郁之助名で出されています。荒井郁之助は、明治 10 年 8 月に地理局に出仕し、12 月から課長となっています(原田朗 1994)。明治 5 年には「英和対訳辞書」を出版し、明治 10 年 1 月にウァルレン著の「Physical Geography」を「地理論略」として翻訳しています。「樹氷」の訳語を作る上で荒井郁之助の加入は大きかったのではないかと考えられます。

#### 【その後 取り違え発覚】

明治25年、ミュンヘンで開催された万国気象会議で、気象観測方法や用語の統一と修正が行われたことが同会議に参加した中央気象台の和田雄治により報告されました(氣象集誌 1892)。これにより、「樹氷」と訳された「Silver thaw」と、「凝霜」と訳された「Glazed Frost」の説明文を取り違えたことによって、訳語が反対に付けられていたことが発覚します。「Silver Thaw」は「雪氷が溶けた銀色の物」、「Glazed Frost」は「ガラス状の霜」となりますが、各々の正しい説明文では、「Silver Thaw」は「樹枝に付着した雪霰で表面が粗く銀色をしている物」、「Glazed Frost」は「樹枝に付着した雪氷で表面が滑らかで透明である物」となります。「凝霜」の「霜」は霜柱を意味しており、霜柱はないが霜柱のような形をした物、「樹氷」は木に付いた透明の氷を想定して付けた訳語でした。なお、「凝霜」は後に「雨氷」と改名されています。

後に和田雄治は、凝霜 (Silver thaw)と樹氷(Glazed Frost) の訳語の交換を提案しています(氣象集誌 1894)が、実現には至りませんでした。正しく訳されていたり、用語が交換されていた場合、「蔵王の樹氷」は「蔵王の凝霜」とよばれていたかもしれません。

是一内成测值一 1 如林 避氣レ 7 7 正コ ク保 1 以 4 象九美 然 護 ヤ テ 军 1 ; 7 4 豢 经三方 ,, 而終林 量 我 西航驗月法 國 各 ) 國 海 3 ) 保 疑 衛 ") F. 7 國 以 急 د 於 生 到1 ) テ 務り 7 テ如農 周 将行 業上 年 ぅ + 来レスも ti 他數 ,以氏亦 ル ン - 変 於 本 年大 平 テ 注 察森林 ) 切化廣法意 成 伐 経 益 7 布 = i 米 ス族テ 驗 7後 = 與考 此に之 報 至 告書 ) 每 7 因 1 i 事 15 木 Ŧ 小 哭 五詳 竹 = 害 其 最 + 業 B 録 陳 表 功 £ ŋ 7 7 負 述 益緊 未 1 ラ 7 其 數 ス ス然宇 要 編 觀

451 地理寮

内務省第1回年報(明治8年7月一明治9年6月)

拾地於六馬測測 氣 ト . テ 月入 角 7温整 象 t 銭定十ョ川ノ武人代リ以業 及置 石 其 y 7 地 ス 觀 貮 温泉 年 自 村業西 置 計 雨 測 7 長サラ ョ 1 施 1 及 雪 ス Ξ ì 田起地行 降 14 測 テ概島ショ 震 計 記事 標 止 計無 ) 晴 11 1 點部 時 等 氣 雨 明 三十号表 ) 7 其 , 設 -治 六個 1 中計 , 経費金 利點間 か十末 八年 ì 菌談 雷電量歌露霜 B 及 テ 温晴 所へ 觀寒雨 六 總帯等 建 月 如 測暖計 起 設 詳計乾 等尽 千二 弟 自 濕 業 録 九武且三 記 計 " i ッ部 百驗門 ク成 畫 風 漸 ロ 自 力 )-夜 1 記次 八線三定 寒 ル 2 計 其 雨暖 山測部 \* 因 7 器 四量二各 雪施量計械 テ

450

一月年海 氣 主表報 農 象 = 1.廣二事観7布在二測 観 浮り有起業 施行セリ 行 與初 測 , 3 八ル等 1) 一句以 目 其 詳 今 後 施 Ħ + E 行 引 ル 方 7. 續テ其業 載セテ 此 前 業 刑五 行日 周 及表年航

87 地 理

内務省第2回年報(明治9年7月—明治10年6月)

神 點 離ス 7 目 ルル 奈 埋的 7 )1] 費左表り 1 設ラ 縣 シ要以シ 六 ラ 下 , 其 横 ) テ 濱 新 位 如原 1 置 4 伊 表費換变置位点石 二户 点 11 变 势 合建需用實用 内國於費 諸雇給 零 費 换 町 交 部 九ノ = 目 町五業 結 埋 ٤ ) 五 設 7 金 同丁地 + ) へ年 月 月 石 一様町道 哨 ハ:一 ハ:五 の:0 t 0 <u>ا</u> 道路二於 起路 全ク成 原 络 III 颗 セ

86

	-			-		天	九			- i	台		***************************************	Ŋ	月	***	25007		風風	******	***************************************			enca.		ar en			
11	最大	月月	雨	雪	雹	<b>氣 日数</b> 雷 雨	情	要	强厦	11	1 月		比板	女 東 化 東		東南東	南東	南	郡	i.	陈西	西	E	P	£ 1	比	北々西	加原	
W 000	十五日	九月	1111	11.11	*	大	七二	1111	to	17.11	100	14.35	七〇	回回	世四	11.11	200	7.1	CE	7.11	later	=		ž	110	10×	1111	*	
E	二十日	十月	1五六	ī	ps .	73	六〇				03.1	七九	七二	平大	*=	200	4 2	Part 4	1.10		2.1	101		E	7.	**	118	25	
	N Hall N	,	四田		三少	= -				le se		10	- 4	il.					i		1					_	七山		

内務省第3回年報(明治10年7月一明治11年6月)

内務省年報	明治	月	事項
	5年	3月	ライプツィヒで第一回万国気象会議の準備会開催
		3月	河野通信(こうの みちのぶ)はMcVean を伴って気象観測機器調達のため渡英
	6年	9月	ウイーンで開始された第一回万国気象会議で「Silver Thaw」「Glazed Frost」決定
		1月	河野通信、McVean 帰国
	7年	7月	気象観測機器到着
			気象観測開始(観測者 Joyner 観測主任 McVean)・英語による半旬報告(Imperial
	0 /	6月	Meteorological Observatory Tokei, Japan)
	8年	12月	観測結果を The Japan Weekly Mail 〜掲載(明治8年12月11日から明治9年7月15日ま
		14 万	で)
第1回		1月	McVean 満期前退職・観測主任 Joyner
NA I E		2月	伝習生(正戸豹之助、下野信之、中久木(馬場)信倫、大塚信豊、武林貞次郎)
		3月	東京日日新聞に半旬報告掲載(地理寮量地課観象臺)
		4月	McVean 残務整理の後に帰国
		5月	
	9年	6月	
		7月	
		8月	<b>東京日日新門の米村親生担業内は</b>
		10月	東京日日新聞の半旬報告掲載中止 東京日日新聞に月報掲載
		10月	宋 ハ ロ ロ 利   耳 () C 月
		12月	
		12 / 1	廃寮地局(気象観測担当者大幅減員)・杉浦局長ら気象観測の重要性を訴える申請書を太
第2回		1月	政大臣に提出・東京日日新聞の月報掲載中止(荒井郁之助主筆の中外工業新報で掲載)・
			「Physical Geography」を「地理論略」として翻訳(荒井郁之助)・西南戦争開始
		2月	
		3月	
		4月	気象年報提出(Joyner)
		5月	
	10年	6月	Joyner 帰国
		7月	
		8月	荒井郁之助出仕
		9月	西南戦争終結・正戸豹之助観測主任〜昇格
		10月	
		11月	桜井勉局長へ昇格
第3回		12月	荒井郁之助課長が小林一知次席へ、測候所の増設などを申請し認められる・「Silver Thaw」が「樹氷」へ飜訳された
舟 3 凹		1 日	
			大种识别人// 在政内内 (正) 引足均压成/
	11年		
			   紀尾井坂の変(内務卿暗殺)
		6月	長崎測候所観測開始
	20年		中央気象台創設(初代台長 荒井郁之助)
	25年		ミュンヘンで開催された万国気象会議で気象観測方法や用語の統一と修正が決定
	97 Æ		説明文の取り違えにより「樹氷」と「凝霜」の訳語が反対であったことが発覚し、訳語の
	21年		交換が提案されるが、そのままとなる
		1月 2月 3月 4月 5月 6月	中央気象台創設(初代台長 荒井郁之助) ミュンヘンで開催された万国気象会議で気象観測方法や用語の統一と修正が決定 説明文の取り違えにより「樹氷」と「凝霜」の訳語が反対であったことが発覚し、訳語の

# PRESS RELEASE



令和2年(2020年)1月16日

# 純米大吟醸「山形大学燦樹(きらめき) 2 0 2 0 」完成 ~山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月3日より販売開始~

#### 【本件のポイント】

- ●農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門(高坂農場)で 栽培された米を原料に使用した純米大吟醸酒が今年も完成した。
- ●原料米には高坂農場産出羽燦々を100%使用。
- ●今年も売上の一部を学生への支援に活用する。



#### 【概要】

山形大学オリジナル純米吟醸酒の新酒が完成し、2月3日より販売を開始します。農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門(高坂農場)で栽培された米を原料に使用した山形大学オリジナル純米大吟醸酒は、2007年から山形大学生協で販売しています。原料米の酒造好適米「出羽燦々」は、特別栽培の認証を受け、慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培したものです。今年は、1900本(約355万円)の販売を予定しており、売り上げの一部は、学生への支援として活用されます。

#### 【山形大学燦樹(きらめき)2020】

醸造本数:生酒500本(720ml)、熱処理した火入酒1,400本(720ml)の合計1,900本

価格:生酒及び火入酒共に、720ml 瓶入り1本1,870円(税込)

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗のほか、同組合のホームページからも通信販売にて購入することができます。(https://www.yamagata.u-coop.or.jp/)

#### 【原料米は附属農場産の「出羽燦々」】

原料米には、農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門(高坂農場)で栽培された酒造好適米 「出羽燦々」を100%使用。山形大学燦樹(きらめき)2011より、特別栽培の認証を受け慣行より50%以 下の農薬・化学肥料で栽培しています。

#### 【醸造元】

鯉川酒造株式会社(山形県東田川郡庄内町余目字興野42)※2019に引き続き醸造いただきます。

#### 【売り上げの一部は学生の支援に】

今年は、1900本(約355万円)の販売が予定されており、完売した場合には、約3557円が「山形大学基金」に寄附され、学生への支援として活用されます。

#### 【試飲会を兼ねた山形大学燦樹(きらめき)2020新酒発表会を開催】

日 時:令和2年1月30日(木)17:10~ 場 所:山形大学農学部 農学部会館1階 生協食堂

#### お問い合わせ

山形大学鶴岡キャンパス事務部総務課企画広報室 TEL 0235-28-2911 山形大学生活協同組合 小白川コンビニ店 Ciel TEL 023-641-8662

# PRESS RELEASE



令和2年(2020年)1月16日

# やまがた食育カレンダー2020完成

#### ~初版から10年の節目に集大成版を制作~

#### 【本件のポイント】

- ●毎年、地域教育文化学部食環境デザインコースで制作し、ご好評を頂いて いるやまがた食育カレンダーを今年も発行。
- ●初版以来10年の節目を記念し、これまでの学生が考案したオリジナルレシピの中から秀作を厳選し、再編集した集大成版。
- ●この10年に起こった食にまつわる社会的出来事も紹介。これからの私たちに求められるフードリテラシー(食生活力)も自己チェックできます。



#### 【概要】

2011 年以来、食環境デザインコースの3年生が毎年制作し続け、ご好評頂いているやまがた食育カレンダー。今年は、10年の節目の集大成版として発行。これまでの学生が、山形の食材を活用して考案した斬新なレシピや食の話題を再編集しました。さらに、この約10年間に起こった食にまつわる社会的出来事を掲載。自身の健康だけでなく、社会の持続可能な発展を実現するために、今後一層求められるフードリテラシー(食生活力)を自己チェックするコーナーも継続。私たちの食生活のこれまでを振り返り、これからを考えるきっかけづくりを目的としたカレンダーとなっています。千部発行し、無料配布中(送料別途)。無くなり次第終了。

#### 【カレンダーの特色】

- (1) 見開き上部: その月にちなんだ料理を学生が考案。実際に調理し、カラーの画像と共に作り方を紹介。
- (2) 見開き下部: 食にちなんだ毎日の話題の他、郷土の料理やおやつ、食にまつわる社会的出来事等を掲載。
- (3)巻末:更に詳しく知りたい方のために、記念日の由来等を掲載。

#### 【背景】

食育基本法制定以降 10 年以上が経過し、全国で様々な食育活動が実施されているものの、各家庭では、食育を難しそうと感じたり、多忙でなかなか実践できないという声もよく聞かれます。一方、山形は在来作物や郷土料理が豊富で、食育のテーマには事欠かない上に、貴重な資源や文化を次世代に伝えていく必要があります。そこで、学校や家庭で、子どもと大人が気軽に食について話すきっかけになればとの思いから、2011 年より、大森桂教授が担当する「栄養教育実習」において、コースの学生と一緒に食育カレンダーを制作し、無料配布を続けてきました。

これまで 400 名以上の栄養士を養成してきた食環境デザインコースは、平成 29 年度より募集を停止しており、今年度の 4 年生(14 期生)が最後となります。今回は、既刊のカレンダーから秀作を厳選し、集大成版として完成させました。

#### 【カレンダーにより期待される効果】

家庭や学校、保育園・幼稚園等における食育の教材として様々な活用ができます。

- ①毎日の話題をきっかけに、巻末の詳しい解説も活用しながら、<u>子どもの興味に応じて幅広い学習が年間を通</u>して継続的にできます。
- ②山形で味わえる毎月の旬の食材や郷土料理も紹介しており、子どもだけでなく、特に若い世代の保護者にも郷土食に興味を持って頂き、地産地消にも貢献できると考えています。

お問い合わせ

学術研究院教授(食教育)大森桂 omorik@e.yamagata-u.ac.jp 小白川キャンパス事務部総務課総務担当(地域教育文化学部) 023-628-4304

#### 【入手方法】

カレンダーの入手方法は、次の 2 通りです。①小白川キャンパスインフォメーションセンター(9:00~16:30)の配布コーナーにお立ち寄り下さい。②A4 サイズの入る返信用封筒(角型 2 号)に送付先の住所を記入し、送料分の切手(1部なら 215 円、2~3 部なら 310 円)を同封の上、以下宛に郵送下さい。

〒9908560 山形市小白川町 1-4-12 山形大学地域教育文化学部大森研究室。詳細は学部 HP にも掲載の予定です。

#### 【今後の展望】

今後は、新カリキュラムの文化創生コースおよび児童教育コースの学生とともに、地域の人々の心と体の健康や 文化の創造を支援する取り組みの一つとして、食育活動をさらに工夫して進めていきたいと考えています。

# PRESS RELEASE



令和2年(2020年)1月16日

# 山形大学造形芸術コースの学生による卒業制作展を開催 ~4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約120点を一挙展示~

#### 【本件のポイント】

- ●山形大学造形芸術コースで芸術を学ぶ学部4年生17名による卒業制作展2020 を開催
- ●今年度のポスターは、描かれている花を私達と重ね合わせ、展覧会を通じて 一つの花束としてまとまり最後を飾ろうという意味がこめられており、髙橋 伺穏さん・熊澤里美さん(地域教育文化学部4年)が制作
- ●山形美術館を会場に開催、市民や大学で芸術を学びたい中高生など、みなさ んに親しまれる制作展に



#### 【概要】

地域教育文化学部造形芸術コース 4 年生が山形大学での学びの集大成として、卒業制作展 2020 を開催します。 今年度のポスターは、展覧会を通じて一つの花束としてまとまり最後を飾ろうという意味がこめられており、 「卒展」の文字の周りに描かれている花々は私達学生を表しています。髙橋伺穏さんと熊澤里美さんが制作を担 当しました。

本展覧会では、絵画作品や彫刻、版画、刺繍、イラスト、ペーパークラフトといった様々な技法・材料を用い たバリエーション豊かな作品約 120 点を展示予定です。市街地中心にある山形美術館を会場とし、地域のみなさ んに学生達の作品を身近に感じてもらえるような卒業制作展を開催します。

#### 【卒業制作展 開催情報】

日時: 2020年1月29日(水)~2月2日(日) 10:00~17:00(最終日のみ15:00まで)

場所:山形美術館 2階第3展示室

学生によるギャラリートーク:2月1日(土) 14:00~15:30

Twitter: @yamadai\_sotsuten Instagram: @yamadai\_sotsuten

入場無料となっております

お問い合わせ

学術研究院教授 小林俊介(地域教育文化学部担当)

TEL 023-628-4329 メール zoukei27@gmail.com



# 山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 造形芸術コース 卒業制作展2020



2020年 1月29日(水) - 2月2日(日)

山形美術館 2階 第3展示室 入場無料 2月1日(土) ギャラリートーク 14:00 - 15:30

【問い合わせ】〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12 【twitter】@yamadai\_sotsuten 山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科造形芸術コース 【instagram】@yamadai\_sotsuten

10:00 - 17:00 (最終日は15:00まで)



# プレス通知資料(概要)



令和 2 年(2020 年)1 月 16 日 山 形 大 学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

#### 1. 令和2年度大学入試センター試験の取材について

既にお知らせしておりますが、小白川キャンパス、米沢キャンパス、県立鶴岡中央高等学校、県立新 庄神室産業高等学校の4会場で実施する大学入試センター試験の取材にあたっては、各試験会場責任者 の許可が必要です。試験の円滑な実施にご協力をお願いします。

取材申込み期限:1月16日(木)正午まで

#### 2. 山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」について

山形との縁も深く、江戸から近代へ文明開化の舞台となった横浜で、町歩きと落語口演、対談を実施します。

日 時:2月28日(金)10:00~16:30

会 場:山手ゲーテ座(岩崎ミュージアム内/横浜市中区山手町254)

#### 3. モンテディオ山形杯「雪中棚田サッカー大会 in 大蕨 2020」の開催について

モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献することを目的に大学コンソーシアムやまが た等の主催で開催している雪中サッカー大会を開催します。

日 時:2月15日(土)8:30~13:30

会場:山辺町大蕨の棚田

#### 4. 産学金連携コーディネータ認定証授与式について

#### ~遠藤金融庁長官を迎え記念講演も~

金融機関職員を対象とした「産学金連携コーディネータ研修」では、一定の条件を満たした受講者に 「山形大学産学金連携コーディネータ」の認定証を授与しています。今年度は、山形県内の金融機関 に加え、愛知県からも参加があり、条件を満たした31名が新たにコーディネータに認定されます。

日 時:2月7日(金)13:30~17:40

会 場:山形国際ホテル3階 富士の間

#### 5. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

1月は、「SDGsを知ろう!学ぼう!やってみよう!」をテーマに、国連が掲げるSDGs (持続可能な開発目標)の実現に向けて、社会の一員として何ができるかを考えていきます。

# PRESS RELEASE



令和2年1月16日

# 令和2年度大学入試センター試験の取材について

- 大学入試センター試験の円滑な実施に御協力をお願いします。-

#### 【本件のポイント】

- ●山形大学では、小白川キャンパス、米沢キャンパス、県立鶴岡中央高等学校、県立新庄神室産業高等学校 の4会場で実施します。
- ●取材される場合は、1月16日(木)正午までに各試験場担当者に御連絡願います。

#### 【概要】

令和2年度大学入試センター試験は、1月18日(土)、19日(日)に全国の大学入試センター試験利用大学等を会場として実施されます。

本学では、小白川地区試験場(小白川キャンパス)、工学部試験場(米沢キャンパス)、県立鶴岡中央高等 学校試験場(鶴岡市)、県立新庄神室産業高等学校試験場(新庄市)にて実施します。

取材に当たっては、事前に各試験場責任者の許可を得た上で行っていただきますよう、試験の円滑な実施に 御協力をお願いします。

#### 【志願者数】

小 白 川 地 区 試 験 場:1,827 人工 学 部 試 験 場:758 人 県立鶴岡中央高等学校試験場:531 人 県立新庄神室産業高等学校試験場:230 人

#### 【小白川地区試験場の取材について】

- 1月18日(土)午前9時5分からの試験室内での撮影をされる場合は、基盤教育3号館交流スペース (別紙参照)に午前8時55分(時間厳守)までにお集まり願います。
- 車で入構される場合は、大学の南門から入り、所定の報道関係者駐車場(別紙参照)に駐車願います。 なお、大学正門は、受験者の入構のため、車等の乗り入れは禁止となっておりますので、ご協力方よろし くお願いします。

※試験場での取材・撮影のお申し込みは、1月16日(木)正午までに各試験場担当者までお申し込み願います。

お問い合わせ

エンロールメント・マネジメント部入試課 更科

TEL 023-628-4140

#### 令和2年度大学入試センター試験の取材について

- 大学入試センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。-

山 形 大 学

#### 1 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試験に関する問合せ等については、エンロールメント・マネジメント部入試課長(**2**023-628-4140)へお願いします。

#### 2 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。

#### 3 試験室内での撮影

試験室内での撮影は、1月18日(土)のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行って ください。

- (1) 大学入試センター試験の撮影については、1月16日(木)正午(厳守)までに各試験場責任者の了承を得てください。
  - ・小白川地区試験場責任者 … 小白川キャンパス長

(連絡先:小白川キャンパス事務部入試課☎023-628-4072)

・工学部試験場責任者 … 米沢キャンパス長

(連絡先:米沢キャンパス事務部学務課入試担当☎0238-26-3013)

・県立鶴岡中央高等学校試験場責任者 … 鶴岡キャンパス長

(連絡先:鶴岡キャンパス事務部学務担当☎0235-28-2808)

- ・県立新庄神室産業高等学校試験場責任者 … 県立米沢女子短期大学学生部長 (連絡先:県立米沢栄養大学・同女子短期大学教務学生課長☎0238-22-7340)
- (2) 1月18日(土)は、午前8時55分までに報道関係者控室等に集合してください。
- (3) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可することとします。
- (4) 撮影時間は、午前9時5分から10分以内とします。 必ず午前9時15分には退案してください
- 必ず午前9時15分には退室してください。 (5) 撮影に当たっては、受験者に動揺を与えないよう注意するとともに、試験場責任者の指定する職員の指示
- (6) 受験者が特定できるような撮影は、絶対に避けてください。
- (7) 本学が指定する試験室以外の「試験室」及び「試験室のある建物」への立ち入りはできません。

#### 4 障害等のある受験者の取材

に従ってください。

障害等のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要がありますので、試験場責任者の 指示に従ってください。

#### 5 不測の事態発生時の取材について

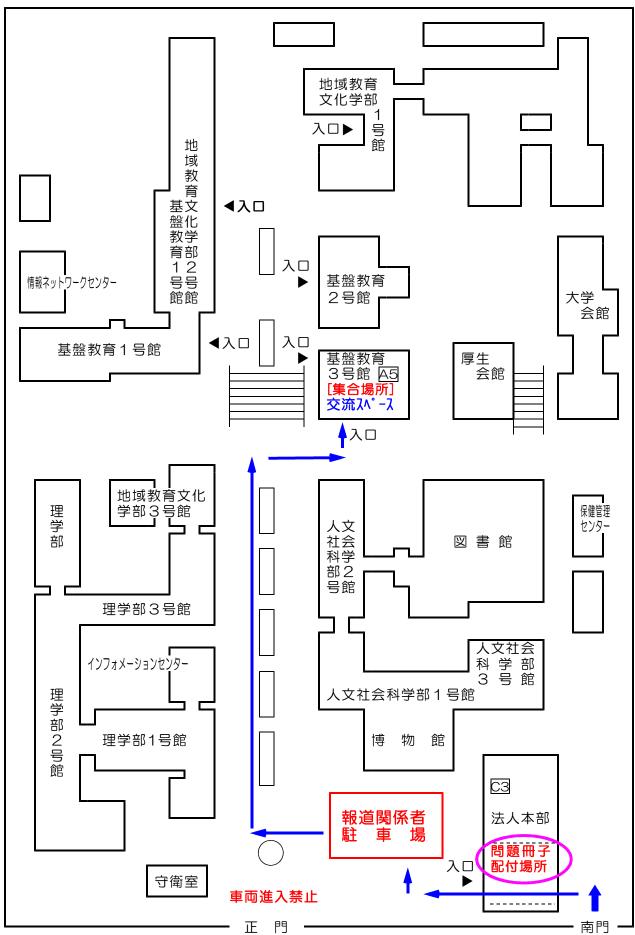
不測の事態が発生して,試験が中止された場合などにおいても,必ず試験場責任者の指定する職員の指示に 従ってください。 6 当日の試験実施状況(※)は、以下の時間にエンロールメント・マネジメント部入試課から報道各社へFAX 送信予定ですので、円滑な試験実施のため、試験時間中の問合せはご遠慮ください。 発表時間はあくまでも予定ですので、あらかじめご了承ください。

区分	1月	18日(=	上)	1月19日(日)					
科目	地理歴史,公民	国語	外国語 (筆記)	英語 (リスニング)	理科①	数学①	数学②	理科②	
発表予定 時間	13:20 以降	16: 以		18:20 以降	13:20 以降	16:0 以降	-	17:55 以降	

<sup>(※)</sup> 志願者数, 欠席した者の人数, 受験した者の人数をお知らせします。

#### 7 問題冊子及び科目別正解の発表

- (1) 問題冊子は、各試験時間終了後に各試験場で配付します。
- (2) 正解及び配点は、試験終了後、大学入試センターにおいて、大学入試センターのホームページを通じて発表します。



※正門からの車の出入りはできません。南門から入構してください。



YAMAGATA 📥 YOKOHAMA

# 文明開化の舞台

~ 江戸から近代へ ~ 「典) た歩く

山形との縁も深く、江戸から近代へ文明開化の舞台となった横浜で、町歩きと落語口演、対談を実施します。

# 2020年2月28日(金)

10:00~16:30 ※時間は参加方法によって異なります

9一部 横浜町歩き〜 文明開化の舞台を探訪 〜 定員:A班、B班<mark>各40名</mark>

文明開化の舞台となった横浜は、庄内藩出身の幕末の志士 清河八郎や置賜盆地を「アルカディア〔桃源郷〕」と賞美したイザベラ・バードのほか、米沢牛や山形産シルクなど、山形との縁も深い地です。山本 陽史(やまもと はるふみ)教授をナビゲーターに、江戸から近代にかけての変化の名残を探訪します。 ※ 荒天時はコース変更や中止にする場合があります。

- ●開催時間 10:00~11:45 (A班) /13:00~14:45 (B班)
- ●予定コース 山手ゲーテ座(岩崎ミュージアム内)〜 港の見える丘公園 〜 山下公園 〜 氷川丸 〜 横浜税関(クイーンの塔)〜 開港広場公園 〜 中華街(関帝廟・ 横浜媽祖廟)〜 横浜外国人墓地資料館 〜山手ゲーテ座(岩崎ミュージアム内)
- ●参加費 500円 (保険料等・当日現金でいただきます)

# 第二部 桂 伸治師匠落語口演・対談「江戸から近代へ」

文明開化は落語にも影響をもたらしました。江戸から近代にかけて、文明開化の影響でどのよう に変化したのかを解説しながら、落語の未来を占います。

●開催時間 15:00~16:30 ●会場 山手ゲーテ座(岩崎ミュージアム内) ●参加無料

落語家 山形大学教授(日本文学) 桂 伸治 山本 陽史

SHINJI KATSURA



※会場へのお問い合わせはご遠慮ください。

#### 会場案内

- ◆みなとみらい線 「元町・中華街駅」⑤ (元町口)出て右、エレベー タ・エスカレータで屋上⑥ (アメリカ山公園口)より 徐歩3公
- ◆JR根岸線 「石川町駅」本町口(南口) より徒歩15分
- ◆神奈川中央交通バス⑪系統 「港の見える丘公園前」
- ◆横浜市営バス@系統 「港の見える丘公園前」

web 1 12 7

## お申し込み

裏面の申込書により、FAX又は

メールでお申し込みください。受付期間は右に記載の3日間です。

お申し込み後、抽選により決定し、参加の可否について2月10日頃までにご連絡します。

# 受付期間

2月**3**日(月) **~5**日(水)



お問い合わせ 山形大学総務部総務課広報室

TEL: 023-628-4008 FAX: 023-628-4013 E-mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

#### 山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」参加申込書

1. 参加を希望する順に**数字**を記入してください。

希望順位	コース名	10:00~11:45	13:00~14:45	15:00~16:30
	<b>Aコース</b> (午前の町歩き+落語)	第一部(町歩きA班)	(自由行動)	第二部
	<b>Bコース</b> (午後の町歩き+落語)		第一部(町歩きB班)	第二部
	Cコース (落語・対談のみ)			第二部

## 2. 参加希望者について記入してください。

			りし込みし	いたたくり	易合は、17	枚(1通のメー	ル) (	こつき 4 :	名様までこ	記人いた	たけます	0
	ふりがな 氏名					生年月	日	1	年 月	日	年齢	歳
1	電話	自宅		_	-	携帯	ļi.	_	-		性別	男・女
	住所	₹						MAIL				
	ン (V T ), T /	1										
	ふりがな 氏名					生年月	日	1	年 月	日	年齢	歳
2	電話	自宅		_	_	携帯		_	_		性別	男・女
	住所	₹						MAIL				
	ン (V T 5, T /	ı										
	ふりがな 氏名						日	1	年 月	日	年齢	歳
3	電話	自宅		_	_	携帯	l	-	_		性別	男・女
	住所	₹						MAIL				
	7 10 18 13					1						
	ふりがな 氏名					生年月	日	1	年 月	日	年齢	歳
4	電話	自宅		_	_	携帯		_	_		性別	男・女
		=				1						•

※ご記入いただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

#### <注意事項>

- ① 申し込みの受付期間は、2020年2月3日(月)10:00~5日(水)17:00です。
- ② 受付終了後、抽選を行い、参加者を決定します。抽選結果は、2月10日頃までにお知らせする予定です。
- ③ メールでお申し込みの際は、上記の情報(希望コースと参加者)をメール本文に記載して送信してください。
- ④ お申し込みはお一人様 (グループ) につき、1 枚 (1通) のみとします。同一の方が複数お申し込みいただいた場 合、2枚目以降は無効となります。
- (5) グループでお申し込みいただいた場合、コースの希望順位は全員同じとみなします。グループの一部のみが違うコースに なることはありません。
- ⑥ 町歩きは、安全な道・場所を引率者が配慮のうえ、ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。 (仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。)

<申込先>	山形大学総務部総務課広報室
ヘアとソルノ	

FAX: **023-628-4013** E-mail: koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# PRESS RELEASE



2020年1月16日

# モンテディオ山形杯 「雪中棚田サッカー大会in大蕨2020」の開催について

#### 【本件のポイント】

- モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献することを目的に 2012年から開催しており、今回で9回目。
- ●「棚田での雪中サッカー」という新たなサッカーの楽しみ方を提案。
- 優勝チームには、棚田米1俵を贈呈。



#### 【概要】

モンテディオ山形杯「雪中棚田サッカー大会」を今年も開催いたします。この大会は、「モンテ棚田米発祥の地」である山辺町大蕨の棚田の中でサッカーを行うことを通して、モンテディオ山形のチームとサポーター、サッカーファン、そしてモンテディオ山形のホームタウン住民が交流を深める場を創出するとともに、「棚田での雪中サッカー」という新たなサッカーの楽しみ方を体験してもらうことで、モンテディオ山形を起点とした元気な地域づくりに貢献することを目的として、大学コンソーシアムやまがた等の主催で開催しており、今回で9回目となります。優勝チームには、棚田米1俵が贈られます。

参加チームは、会社の同僚、学生仲間など様々ですが、昨年度もアルビレックス新潟のサポーターで構成するチームが参加するなど、雪の棚田で熱い戦いが繰り広げられます。競技終了後は選手約90人、スタッフ40人が「わらび汁」を囲んでの和やかな交流会もあり、これを楽しみに参加するチームもあるなど年々盛り上がる大会となっています。

#### 【雪中棚田サッカー大会in大蕨2020】

日 時:2020年(令和2年)2月15日(土)8:30~13:30

会 場:山辺町大蕨の棚田

参加費:1チーム4,000円(参加賞、スポーツ保険、昼食時に提供する「わらび汁」代等含む。)

参加対象:中学生以上

募集チーム数: 先着10チーム(7人でエントリーし、試合は5人が出場する。)

競技方式:3チームずつ4グループに分かれてのリーグ戦

(内2チームはモンテディオ山形ジュニアユースチームが参加。)

試合形式:フットサルに準じた特別ルールを採用、6分ハーフ制

景 品:優勝チームへ棚田米 1俵(60kg)

参加賞:各チームに舞米豚

主 催:大学コンソーシアムやまがた、中地区有志の会、グループ農夫の会

後 援:山辺町

協 力:公益社団法人山形県スポーツ振興 21 世紀協会、㈱モンテディオ山形、山形県

お問い合わせ先

大学コンソーシアムやまがた事務局(齋藤)

TEL 023-628-4842 メール unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先:学長記者懇談会参加報道機関

# PRESS RELEASE



令和2年(2020年)1月16日

# 産学金連携コーディネータ認定証授与式の開催について ~ 遠藤金融庁長官を迎え記念講演 ~

#### 【本件のポイント】

- 平成19年から続く山形大学の「産学金連携コーディネータ」認定証授与。
- 令和元年度は山形地区から28名、愛知から3名の計31名に新規に認定証を 授与。更新条件を満たした更新コーディネータと合わせて総勢299名に認 定証が授与される。
- 山形大学がコーディネータ研修を実施した青森地区、東京荒川地区を加えた3地区交流研修会も同日開催。式典では、遠藤金融庁長官を招いて記念講演を行う。



#### 【概要】

山形大学では、平成 19 年(2007 年)より金融機関職員を対象とした「産学金連携コーディネータ研修」を実施しており、一定の条件を満たした受講者に「山形大学産学金連携コーディネータ」の認定証を授与しています。今年度は、山形県内の金融機関に加え、愛知県の西尾信用金庫からの参加を得て研修を行い、研修後の実践レポート等の条件を満たした 31 名が新たにコーディネータとして認定されます。継続的実践活動についてのレポート等の更新条件を満たした更新認定者を含め、認定証授与者は総計 299 名となります。また、「スキルアップ研修」を経たシニアコーディネーターを新たに 18 名認定します。2 月 7 日(金)に開催する認定証授与式では、遠藤俊英金融庁長官を講師に招き記念講演を行う予定です。

また、同日に山形地区と同様に研修を実施した青森地区、東京荒川地区を加えた3地区交流研修会を行います。

#### 【背景】

人口減少社会への移行や、産業のグローバル競争の激化により、地域企業においても継続的なイノベーションが求められている。一方で、大半を占める中小企業が単独でイノベーションを実現することは困難。そこで、従来からの資金供給(金融)に加え、各企業の抱える強みや課題を目利きし、発展に向けた具体的な支援や大学等の他機関とのコーディネート役を果たす金融機関の存在が期待されるようになった。

金融庁でも、平成27年9月の金融行政方針において、地域金融の目的として「地方創生」を明示し、これまでの規制による金融安定を中心とした方針から、育成による地域経済の発展への貢献に方針転換した。

#### 【産学金連携コーディネータについて】

山形大学では、2007年から小野浩幸教授(技術経営学)が中心となって、県内の全金融機関との連携のもと「産学金連携コーディネータ」制度を創設。金融機関職員に対して企業の将来の事業性を評価できる目利き力を養成する人材育成に取り組んできた。

これまで培ってきた実績により、オリジナルの研修テキストを用いた独自の手法を開発し、金融機関にとって担保や財務諸表だけに頼らない融資の促進や直接的な企業支援を可能とした。これは、金融機関にとっても持続可能なビジネスモデルとなりうる。山形県内でこの人材育成研修を受けた金融機関職員は700名を超え、さらに4年前からは東京都荒川区エリアで、昨年から青森県でも同様の取り組みが始まっている。

#### 【今後の展望】

2019年8月に金融庁は金融行政方針とともに「金融仲介機能の発揮に向けたプログレスレポート」を公表した。このプログレスレポートで山形大学の取組みがベストプラクティスとして掲載されたことで、全国から問い合わせがあり、このような金融機関による企業支援活動が全国に広がることが期待される。

※ 認定証授与式の詳細 は別紙をご覧くださ い。

お問い合わせ 山形大学地域価値創成学研究所

所 長 小野浩幸(学術研究院教授 理工学研究科主担当) 産学連携研究員 鈴木昭一

TEL: 0238 - 26 - 3265 メール gakukinpf@yz.yamagata-u.ac.jp

# 山形大学認定産学金連携コーディネータ制度

コーディネータエキスパート

実務経験5年以上 基準以上の実績

シニアコーディネータ

H23~R元の認定者数 累計 148名

(R元年度有効認定者 118名

H23:10名 H24:10名 H25:13名 H26:11名 H27:13名 H28:21名 H29:29名 H30:23名

R元:18名

●特徴:認定制度・年度毎の更新制度

●目的:県内すべての地域金融機関を

的スキル向上を図る。

●内容:山形大学独自の教材による基

対象とし、中小企業を取り巻く「経営」「事業」「技術」「市場」の全体を把握分析する実践

礎的知識の習得に加え、地域企

業の協力のもと事業現場に赴き

課題の分析と課題克服に向けた ソリューション提案までを行う

Learning」方式による研修制度

「PBL; Project Based

実務経験3年以上+スキルアップ研修

産学金連携コーディネータ

222222

H19~R元の認定者数 累計429名

(R元年度有効認定者 299名)

H19:22名 H20:23名 H21:43名 H22:29名 H23:13名 H24:10名 H25:34名 H26:53名 H27:49名 H28:56名 H29:42名 H30:24名

<概 要>

R元:31名

→産学金連携コーディネータ認定

研修1か月後の実践レポート

H25:19名 H26:16名 H27:24名 H28:24名

H23:11名 H24:11名

H29:19名 H30:18名

スキルアップ研修 H23~R元の受講者数

計157名

R元:15名

# 産学金連携コーディネータ研修受講 (県内13機関及び 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 県外1機関が参加)

#### H19~R元の受講者数 計558名

H19:57名 H20:23名 H21:56名 H22:40名 H23:21名 H24:17名 H25:43名 H26:63名 H27:58名 H28:61名 H29:52名 H30:31名

R元:36名

## 令和元年度 三地区交流研修会

- 2. 場所 山形国際ホテル 3階 富士の間(東) (山形市香澄町3丁目4-5)

#### 三地区交流会 支援プランコンテスト

10:00 開会挨拶 山形大学地域価値創成学研究所 所長 小野 浩幸

10:10 事例発表 (発表 15分、質疑応答5分)

青森地区 2 チーム、荒川地区 2 チーム、山形地区 2 チーム

12:20 講評・総評

--- 12:30~13:30 **昼食休憩、会場設営** ---

## 山形大学認定「産学金連携コーディネーター」認定証授与等

- 2. 場所 山形国際ホテル 3階 富士の間(東) (山形市香澄町3丁目4-5)

#### ≪ 第1部 ≫ 産学金連携コーディネーター認定証授与式

13:30 開会の挨拶 山形大学長 小山 清人

13:35 来賓紹介・祝辞

13:45 認定証授与(新規認定者)

13:50 認定証授与(シニアコーディネーター認定者)

13:55 認定証授与(更新認定者)

14:10 認定者・修了者写真撮影

#### ≪ 第2部 ≫ 記念講演

14:30 『金融行政と地域の未来』(仮題) 金融庁長官 遠藤 俊英 氏

#### ≪ 第3部 ≫ スキルアップ研修・三地区交流研修優秀者発表

16:00 産学金連携コーディネーター研修実績概要説明

山形大学 学術研究院 教授 小野 浩幸

16:15 三地区交流研修優秀チーム表彰

16:20 スキルアップ研修優秀事例発表 (発表15分、質疑応答5分) 《 スキルアップ研修優秀プレゼン者 》

最優秀者 1名、優秀者 3名

17:40 閉会の挨拶 山形大学 学術研究院 教授 小野 浩幸

令和2年(2020年)

# やまがた夜間

# 「SDGsを知ろう!学ぼう!やってみよう!」

国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けて、行政のみならず私たち一人一人が力を合わせていくことが大切です。今回は、SDGsについて知り、学ぶとともに、様々な取り組み事例をとおして社会の一員として何ができるかを考えていきます。



2月 5日(水) 「SDGsってなに?」

講師:山縣 弘忠 氏(東北芸術工科大学 准教授)

2月12日(水) 「まちづくりとSDGs」

講師:髙橋 弘之 氏(飯豊町企画課長)

2月19日(水)「企業活動とSDGs」

講師:佐藤 亮敏 氏(リコージャパン株式会社山形支社 地域創生推進グループリーダー)

2月26日(水) 「国際協力活動とSDGs」

講師:阿部 眞理子 氏(認定NPO法人IVY 理事)

※時間は18:00~19:00です。

会 場 ゆうキャンパス・ステーション (遊学館2階)

申込方法

対象

高校生•学生•一般市民

定員:45名 入場無料

事前に裏面の参加申込をFax、 郵送するか、必要事項を記入したメールでお申し込みください。

主催

お申込み お問合せ 大学コンソーシアムやまがた

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 遊学館2階

Tel: 023-628-4842 Fax: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

東営駐車場をご利用の場合は、入館

時にそれぞれ1階総合受付案内へ駐

車券を出してください。利用時間に合わせて料金が割引になります。



# FAX:023-628-4820 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。 申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に区、又は日付を〇で囲んでください。  □ 令和2年2月 5日(水) 講師: 山縣 弘忠 氏 □ 令和2年2月12日(水) 講師: 髙橋 弘之 氏 □ 令和2年2月19日(水) 講師: 佐藤 亮敏 氏 □ 令和2年2月26日(水) 講師: 阿部 眞理子 氏
住所	<del>=</del>
氏 名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	必須ではございません

- 受講申込者が定員を超えた場合には、入場をお断りさせていただく場合がございます。
- ・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、 参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】 令和2年1月14日から住所が変わります。

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 遊学館2階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp